

ちょうのう 聴能だより

令和8年2月3日
ながおかるうがっこう しえんぶ
長岡聾学校支援部
ちょうけんしつちよくつう
0258-38-0200 (聴検室直通)
tyounou@nagaokarou.nein.ed.jp

自分のことは自分でできる大人に

聴能だより12月号では、「結露によるトラブル」について特集し、結露の原因や具体的な対応策などについてご紹介しました。しかしながら、補聴器や人工内耳のトラブルは結露以外にも様々な原因で発生しますし、たとえ故障しないように心掛けていたとしてもいつ調子が悪くなるか分からないものです。そんな時、どう対応したらよいのかという知識や態度、技能を身に付けることは、とても大切な学習と言えます。

例えば、補聴器の調子が悪くなった時のことを例に考えてみたいと思います。当たり前のことですが、まずは補聴器の不調に気付くことがスタートになります。「聞こえない」とか、「いつもと違う聞こえ方だ」という気付きが重要になります。次に、担任の先生に不具合を伝えたり、自分でできる対応をやってみたいりします。電池残量をチェックしたりメンテナーにかけたりして、症状が改善するかを自分で確かめます。それでも、不具合が続けば、きこえルームに相談に行くという流れになりますし、さらに補聴器店に依頼する場合も出てくるかと思えます。



当然、補聴器の状態について説明したり、利用する補聴器店や担当者の方の名前を伝えたりする場面も出てきますから、そうした力もぜひ身に付けたいものです。今回は学校で発生したトラブルの場合でしたが、家庭ならどうするか、あるいは人工内耳の場合はどうするかなど、具体的に整理しておくといいと思います。いづれにしても自分事として捉え自分で対応できることは自分で行い、必要な場合は援助を求めるという主体的な姿勢が求められています。聾学校では、幼稚部から高等部までの一貫した教育の中で、そうした知識や態度、技能を育てていきたいと考えています。

聴能週間(2回目)を振り返って



<p>【幼稚部の様子】</p> <p>「ぬれたらふくよ」「ねるときにはケースにいれるよ」の約束を改めてクラスで確認しました。今回もチェックカードを使い、家庭でも親子できちんとできているかチェックをしました。きいろぐみは来年小学生になることを見据え、親子でイヤモールドの洗浄の学習をしました。その後、実際に自分のイヤモールドをきれいにしました。</p>	
<p>【小学部の様子】</p> <p>小学部朝会で、冬には前回の聴能週間にはなかった「結露」が起こることを、めがねのレンズや窓ガラスを例に説明しました。「そんなときは、どうする?」の問いに、「エアパufferで水をとばす」「ハンカチで拭く」など答える子どもたち。チェックカードの○の数が前回よりも増え、全部○がつく児童もいました。</p> <p>これからも、自分で使う補聴器や人工内耳を管理できるように、学校での声掛けはもちろんですが、家庭でも声掛けをお願いし、意識を継続していきたいと思ひます。</p>	
<p>【中学部の様子】</p> <p>2回目の聴能週間は、通常の補聴器管理に加えて「聞こえにくい状況でのコミュニケーションを考える」をテーマに、中学部全員でロールプレイを2回行いました。「カフェ」と「駅」という場を設定し、どうやったら騒音やマスク装着者の多い中で望ましいやりとりができるか、どんな方法があるのか、何が必要なかを、個人、またはグループ内で相談し、試行錯誤しながら取り組み、難しさと手応えを得ていました。</p>	
<p>【高等部の様子】</p> <p>産業技術科では、桐生教諭より「自分のきこえの確認」についてお話いただきました。自分の聴力測定結果をスピーチバナナに書き写し、測定結果の見方について説明をいただきました。表と見比べることで自分のきこえ方の特徴を確認し、新たな気づきがあった生徒もいました。また、教員もそれぞれの生徒の聞こえにくい音域などの確認ができました。自分の聞こえ方を理解し、卒業後の生活に必要な支援を考えて準備を進めていける力を付けてもらいたいと思ひます。</p>	

耳は気温の影響を受けやすい!

補聴器だけではなく、耳も寒さに影響されやすいものです。体の他の部分とは異なり耳には体を暖かく保つための脂肪層がありません。そのため、寒い屋外にいるときに、耳が最も速く冷えるのです。寒さによる血流の悪化で生じる一般的な症状は、耳鳴り、耳垢の増加、むくみなどがあります。

また、寒い時期は一般的に体調を崩しやすい時期でもあります。暖かい季節に比べて、風邪やインフルエンザなどが増え、急性中耳炎を引き起こすことがあります。難聴があるなしにかかわらず、ぜひ、体を温める食事や十分な睡眠をとるなどして体調を整えてください。補聴器をしている人は、外出する際、帽子やマフラーなどを使用して、耳と補聴器の両方を寒さから守りましょう。

